

4) 枝肉拭取り検査

① 腸管出血性大腸菌O157及びO26検査 (牛)

実施月	検体数	陽性		陰性	
		0157	026	0157	026
4月	5	0	0	5	5
5月	5	0	0	5	5
6月	5	0	0	5	5
7月	5	0	0	5	5
8月	5	0	0	5	5
9月	5	0	0	5	5

実施月	検体数	陽性		陰性	
		0157	026	0157	026
10月	5	0	0	5	5
11月	5	0	0	5	5
12月	5	0	0	5	5
1月	5	0	0	5	5
2月	5	0	0	5	5
3月	0	0	0	0	0
計	55	0	0	55	55

※牛の心臓及び肝臓の拭取り検査(計22検体)を実施し、すべて陰性であった。

② 生菌数、大腸菌群数及び大腸菌数

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
牛	回数	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	13
	検体	10	10	10	10	10	10	20	10	10	10	10	10	130
豚	回数	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	0	12
	検体	10	10	10	10	10	10	20	10	10	10	10	0	120

③ サルモネラ検査 (豚)

実施月	回数	検体数	陽性	陰性
4月	1	10	0	10
5月	1	10	0	10
6月	1	10	0	10
7月	1	10	0	10
8月	1	10	0	10
9月	1	10	0	10

実施月	回数	検体数	陽性	陰性
10月	1	10	0	10
11月	1	10	0	10
12月	1	10	0	10
1月	1	10	0	10
2月	1	10	0	10
3月	0	0	0	0
計	11	110	0	110

※サルモネラ属菌の陰性を確認した。

④ グリア繊維性酸性タンパク (GFAP) 残留量調査 (牛)

実施月	回数	検体数	残留度0	残留度1	残留度2	残留度3	残留度4
4月	1	12	12	0	0	0	0
5月	1	12	12	0	0	0	0
6月	1	12	12	0	0	0	0
7月	1	12	12	0	0	0	0
8月	1	12	12	0	0	0	0
9月	1	12	12	0	0	0	0
10月	2	24	23	0	0	1★	0
11月	2	16	15	0	1★	0	0
12月	1	12	12	0	0	0	0
1月	1	12	12	0	0	0	0
2月	1	12	12	0	0	0	0
3月	0	0					
計	13	148	146	0	1	1	0

※100 cm²当たりのGFAP量
 残留度0 : 3ng 未満
 残留度1 : 3ng 以上 6ng 未満
 残留度2 : 6ng 以上 9ng 未満
 残留度3 : 9ng 以上 12ng 未満
 残留度4 : 12ng 以上

★再洗浄を実施した後の再検査により、残留度0を確認後、流通した。